

あかひら

No.346



2017. 9

岩手県勤労者山岳連盟



盛岡山友会



あかげら

9月号

も く じ

-
- 01 縦走路「旅日記 柳生への道」 菊地 広子
02 今後の日程（事務局）
-
- 03 今後の山行計画
-
- 06 運営委員会報告
08 事務局から
09 県連報告
10 専門部報告
●山行管理委員会 ●教育対部 ●会報部
13 行ってきました！
-
- ▲山行報告
15 31周年創立記念山行 岩手山 菊地 広子
17 創立記念山行 岩手山 馬返しコース B班 佐々木善男
19 塩屋富士（317m）－沖繩本島の山を訪ねて－ 渡邊 健治
-
- 21 ある日ある時 “＜秋きぬと・・・＞” 淡 望天
23 交流の広場

駅から宿までは5, 6キロ、寄り道を探して地図をみる。地図にある山の標高は岩山程度である。行在所のある笠置山(京都府)を選ぶ。後醍醐天皇と何やら関係があるらしい。駅前に町のPRであろう、後醍醐天皇軍と鎌倉幕府軍の武者人形が置かれていた。「元弘の乱」はこの笠置山での合戦であった。幕府軍が勝利し天皇は隠岐に流刑されたと歴史は記している。

コンビニで昼食の準備と気楽に考えていたがコンビニがない。持参の行動食に自動販売機でポタージュを購入し登山口に向かう。巻き道の車道でも結構な坂だ。木津川に向かって等高線が細かく刻まれている。太平記に「笠置の城は山高くして」と記されているという。標高289m、岩山より低いはず〜と大変な山であった。頂上付近に笠置寺があり、人がいないので拝観料をわかるように置き正月堂に向かう。本尊とされるのは日本最大最古といわれる磨崖仏。折角登ってきたのに、何処までもどんどん下がる。巨岩、奇石、怪石に驚き、帰りの登り返しはしんどいなと思いながら進む。修行の場と言うのもうなずける。眼下遙か彼方に木津川が流れている。ぐるっと巡って寺の本坊に戻るようになっていて助かった。

東大寺の実忠和尚とその師良弁僧正が大岩石に仏像を彫ったとある。お水取りを始めた実忠和尚が、龍穴にこもって修行している時に得た法が、修二会の骨子をなしているという。白洲雅子の「私の古寺巡礼」にあった。ここがその龍穴なのか。なにかと邂逅したような面白さを覚えた。文字の世界にいた人が時空を超えて生身の人間として近づいてくる。そして1200年もの悠久の歴史を紡いできた事とそれぞれ支えてきた人々を思う。旅の楽しさの一つに人と人、人と土地のあいだを知ることがある。今朝の等伯に久蔵。そして又大好きな吉野と南朝の端緒を開いた合戦の地、笠置。2, 3年前に見た二月堂の炎と笠置寺。現地を尋ねる楽しさを目一杯堪能した半日であった。

寺を出てあとは東海道自然歩道を進む。道はなだからに南に向かって下っていく。ゴルフ場を過ぎるとじきに柳生の里にいたる。柳生と剣術の関係は多分ドラマを通して有名になったのだろうが、剣術に関しては興味も沸かない。松本清張は宮本武蔵のモデルになる人物に懐疑を抱いている。旧柳生家家老屋敷と柳生家の菩提寺である芳徳寺をたずねる。遠くから見る家老屋敷は奈良の郊外に見られる屋敷の一つと大して変わらない。しばし景色を眺めゆっくりとした時を過ごす。あとは宿に向かうだけ。明日は古都奈良まで柳生街道20キロ弱。どんな景色が待っているのだろうか。

今後の日程 (2017/10/1~2017/11/3)

行事		行事	
10/1	▲新人歓迎山行／八幡平 (組織)	18	◎リーダー会議
日		水	
2	9/25~10/1 No.279 松田幸久	19	10/16~10/22 No.382 三浦明夫
月		木	
3	☆第7回常任理事会 (県連)	20	
火		金	
4	10/2~10/8 No.002 渡邊健治	21	
水		土	
5		22	
木		日	
6		23	
金		月	
7	▲七折れの滝 (自然保護)	24	
土		火	
8	▲太平山 (名山)	25	◎10月例会 (勤労福祉会館) 18:45~
日		水	
9	▲八甲田山 (山行企画)	26	▲女神山 (ウィーク)
月		木	
10		27	10/23~10/29 No.416 福山茂和
火		金	
11	◎運営委員会 (勤労福祉会館) 18:45~	28	
水		土	
12	▲七時雨山 (スケッチ)	29	
木		日	
13	10/9~10/15 No.234 古川 孝	30	
金		月	
14		31	10/30~11/5 No.433 岡 義博
土		火	
15	▲石上山 (山行企画)	11/1	
日	▲女神山 (ゆうゆう)	水	
16		2	
月		木	
17	10/16~10/22 No.382 三浦明夫	3	
火		金	

- ◆「やま・ともサロン」は日程を決めず、会員の希望により随時開放します。ご希望の方はお電話ください。090-4318-5128 (No.19 中村美栄子)
- ◆山行管理専用アドレス: morioka_yamakan@freeml.com

今後の山行計画

* 掲載の山行企画は全会員を対象としています。

【山域/ルート】 七折れの滝			企画	自然保護部
実施日	10月7日(土)	地形図	早池峰山(1/2500)	
目的	自然保護に関する観察会を行う			
難易度	歩行:★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	自然保護の立場から早池峰山周辺でシカの生息状況など、情報収集を行います。			
締切り	9月30日(土)	打ち合わせ	10月2日(月)18:30 おでつて2F	
問合せ	連絡先:TEL 岡 義博 080-6542-8871			

【山域/ルート】 太平山(1170.6m)			企画	岩手の名山あるこうかい
実施日	10月8日(日)	地形図	太平山・松原 (1/25000)	
目的	東北の山に登る。			
難易度	歩行:★★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	宝蔵岳コースを登り、宝蔵岳・弟子還岳・太平山奥岳を廻り、旭又コースに下ります。			
締切り	10月1日(日)	打ち合わせ	10月2日(月)場所:おでつて2F 18:30	
問合せ	級木信子 連絡先:TEL 090-2844-9481			

【山域/ルート】 八甲田山(1584.6m)			企画	山行企画部
実施日	10月9日(月)体育の日	地形図	酸ヶ湯・八甲田山(1/25000)	
目的	絶景の紅葉を見る。			
難易度	歩行:★★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント				
締切り	10月1日(日)	打ち合わせ	10月2日(月)場所:おでつて2F 18:45	
問合せ	古川孝 090-8923-3120(ショートメール可) mountfuru2@yahoo.co.jp			

【山域/ルート】 七時雨山(1063m)			企画	こころのスケッチ山行クラブ
実施日	10月12日(木)	地形図	七時雨山(1/25000)	
目的	心のスケッチ			
難易度	歩行:★★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	七時雨山南峰への登山道を歩いてみませんか。			
締切り	10月4日(水)	打ち合わせ	10月 日()場所 後日連絡	
問合せ	工藤敬子 連絡先:TEL 019-635-3203 FAX 可			

【山域/ルート】 石上山(1038.1m)			企画	山行企画部
実施日	10月 15日(日)	地形図	上宮守(1/25000)	
目的	遠野修験の山に登る			
難易度	歩行:★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	連続する鉄はしごを登ります。			
締切り	10月7日(土)	打ち合わせ	10月11日(水)おでつて2F 18:30	
問合せ	武田秀雄 連絡先::TEL663-3777(留守電) SNS/メール			

【山域/ルート】 女神山			企画	ゆうゆう
実施日	10月15日(日)	地形図	左草・真昼岳(1/25000)	
目的	ブナと滝を見に行きましょう!			
難易度	歩行:★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	ちょっと早い秋を楽しみましょう。			
締切り	10月7日(土)	打ち合わせ	10月10日(火)中央公民館 18:30	
問合せ	連絡先::TEL 岡 義博 080-6542-8871			

【山域/ルート】 安比岳			企画	岩手の名山歩こうかい
実施日	10月 15日(日)	地形図	茶臼岳(1/25000)	
目的	安比の紅葉を楽しむ			
難易度	歩行:★★★	荷物:★★	技術(無雪期):★	
コメント	赤川登山口より安比岳～黒谷地湿原～茶臼岳～赤川登山口の周回します			
締切り	10月6日(金)	打ち合わせ	10月 10日(日) おでつて2階	
問合せ	本間 典 連絡先::TEL 090-6782-2853 (SMS可)			

【山域/ルート】 女神山			企画	ウィークデークラブ
実施日	10月26日(木)	地形図	左草・真昼岳 (1/25000)	
目的	平日山行を楽しむ			
難易度	歩行:★★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	ブナ林の紅葉と滝を見に行きましょう。			
締め切り	10月19日(木)	打ち合わせ	10月23日(月)18:30 場所:おでつて	
問合せ	工藤敬子 連絡先:TEL 019-635-3203 FAX 可			

あかげら 10月号に掲載する山行計画は、書面、メールにて、山行企画部
No.234 古川 孝 090-8923-3120(ショートメール可) mountfuru2@yahoo.co.jp
 までお願いします。締め切りは10月8日(日)です。
 なお、フォーマットは会員専用HP左下の様式ダウンロードを御利用ください。

2017年度 第6回運営委員会報告

出席者確認(出席者数：16/23名) 2017.9.13(水)18:45～20:15 勤労福祉会館

渡邊 三浦(明) 中村(美) 石澤 小田(嘉) 高橋(恵) 中村(数) 松田(幸) 小原 千田
古川 福山 小川 渡部(彩) 岡(義) 大倉

【進行：三浦(明) 記録：中村(美)】

1 会長あいさつ

全国連理事の有志で沖縄平和ツアーに行ってきた。山は珍しい動植物に出会う楽しい経験だったが、地元の労山仲間との交流で沖縄の苦悩を肌で感じ有意義な旅だった。

2 報告事項・確認事項

(1) 現在の組織状況(9月13日現在)

会員数102名(男55名/女47名)登山時報 52部

入会No.478 佐々木優子 No.479 山口斉 No.480 竹田真弓

(2) 各専門部等の取組状況

(ア) 山行管理委員会…別記

(イ) 救助隊…救助隊名簿 協議して9月例会時に当該者に了解を得ることに。

(ウ) 教育遭対部…10/29(日)救命講習会予定。

(エ) 山行企画部…9/3(日)会創立記念山行 岩手山24人、姫神山13人参加した。

④ 組織部…10/1(日)新人歓迎山行予定

⑤ 自然保護部…放射線量測定をした。10/7(土)自然観察会(七折の滝)

⑥ 会報部…「山友」の原稿募集、9月例会でアンケートを配布する予定

⑦ 事務局…医療パックの内容確認、保管はNo.140 石澤さん

⑧ 県連理事会…別記

(3) その他報告事項

・8月例会時 傘の忘れ物あり→石澤さんへ

・会場のテーブルを移動するとき、必ずキャスターの止めをはずしてから行うこと。

3 協議・承認事項

(1) 会員アンケート(あかげらのPDF配信について)の実施について協議…9月例会で配布

(2) 事務局…30周年記念誌・記念品の取り扱いについて(記念誌10冊、ポーチ27枚、バッジ7個) 新入会者に贈呈することに。

(3) 緊急連絡先に付いて…担当者が不在の時は、次の担当者に了解を得て依頼する。担当になった人は計画書提出者に連絡する。

- (4) 会のホームページの更新について…会山行の情報を載せるようにする。運営委員会で確認する。

◆当面の予定

9月13日(水) 第6回運営委員会	10月3日(火) 県連理事会
9月27日(水) 9月例会	10月11日(水) 第7回運営委員会
10月1日(日) 新人歓迎山行(八幡平)	10月18日(水) リーダー会議
	10月25日(水) 10月例会

☆ 例会の司会と後片づけ

担当月	担当部	担当月	担当部	担当月	担当部
4月/10月	教育遭対部	5月/11月	山行企画部	6月/12月	会報部
7月/1月	組織部	8月/2月	事務局	9月/3月	自然保護部

10月運営委員会 10月11日(水) 18:45~

原稿のお願い

10月号の原稿締め切り

◎ 10月7日(土)

※手書き原稿の場合は、2日前までとします!

原・稿・の・基・準

■サイズ：B5

■本文枠：幅14cm・縦22cm以内 又は 余白：上・下・右・左20mm

■本文のフォント：10~12ポイント、明朝体、またはゴシック体で

※編集作業中に文字化けする可能性がありますので、フォントは守って下さい

□ 送り先 ◎手書き原稿(郵送)

会員No.357 渡部 彩子

〒020-0632 滝沢市牧野林 1047-66

Tel 090-7528-1968

◎メール原稿

会員No.301 久保 加世子

メールアドレス k-kubo@mba.nifty.ne.jp

事務局から

☆ 会員動向（9/13 現在）

会員数 102 名（男 55、女 47） 登山時報 52 部

入会者 No. 478 佐々木優子さん

（盛岡市中野在住 携帯 090-8610-4117） 1 口 組織部

No. 479 山口斉（ひとし）さん

（八幡平市在住 携帯 090-5188-0773） 5 口 教育遭対部

No. 480 竹田真弓さん

（盛岡市洪民在住 携帯 090-5356-94405） 5 口 山行企画部

☆ 医療パックの内容（8月号と名前が変わったりしてます）

サムスプリント 2 本、 ハサミ 1 丁、 三角巾 1 枚、
エクストラクター（毒吸引器）+ 剃刀、 テープ 3 種、
カット絆・キズ当てパット中・大、 ゴム手袋 2 組、
ネット包帯（手・足・頭用）、 生理用パット、 とげ抜き、
キューマスク（人口呼吸用）

- * 消耗品は使用後、補充せず返却時にその旨を保管者に報告してください。
- * 保管は No. 140 石澤妙子です。山行には持参するようしましょう。

☆ 例会の司会と後片づけ

担当月	担当部	担当月	担当部	担当月	担当部
4 月/10 月	教育遭対部	5 月/11 月	山行企画部	6 月/12 月	会報部
7 月/1 月	組織部	8 月/2 月	事務局	9 月/3 月	自然保護部

10 月例会は 10 月 25 日（水） 18 : 45 ~

2017年度 第6回県連理事会報告

2017/9/5(火) 19:05～20:05

花巻市学園都市会館2階 会議室
出席:渡邊健治(文責)、千田勝則

会長挨拶

死亡事故が労山内で相次いでいる。(①北海道定山溪の天狗山(1145m)の熊の沢コースで50代男性が滑落、②スイスアルプスのメンヒ(標高4107m)で70代男性と50代女性が滑落、③八ヶ岳連峰・中岳の立場川本谷で男性が約50m滑落)活動するゆえ事故はあると思うが、重大事故にならないよう常日頃のレスキューなどの訓練の重要性を意識したい。

協議事項

(1) クライミングレスキュー技術講習会

開催期日:2017/9/30～10/1 9時30分から

開催場所:展勝地及び大迫体育館

収入項目	内訳	金額	備考
県連予算		20,200	
支出合計	会場使用料、消耗品等	30,500	

※不足額10,300円は、参加料、書籍等の売上で確保する。

(2) スキルアップ講座

開催期日:2017/11/12

開催場所:滝沢ふるさと交流館(チャグチャグホール)

講師予定:メディックワークス 恵(いさお)秀彦 氏

講座内容:山のファーストエイド(外傷の応急手当、低体温症、大出血のコントロール他)

収入項目	内訳	金額	備考
収入	県連予算+参加費	99,800	参加費 40人×500円
支出	講師謝礼、会場代他	99,800	

(3) 奥羽B協議会会議(岩手県連11月11-12日 受付16時その後19時まで会議、その後交流会)

会場:八幡平市の中山荘を予約する。※今回は秋田から来てほしいと願っている。

(4) 第8回女性と登山全国集会(埼玉 12月2-3日 女性委員会創設40周年記念)

会場 国立女性教育会館(埼玉県嵐山市 TEL0493-62-6661)

テーマ 女性委員会40年の歴史から学ぶ「新しい波を 女性たちから」

※参加する会は村上明枝理事に報告のこと。

(5) 2017年全国自然保護担当者会議(栃木 10月28日(土)13時～10月29日(日)12時)

会場 日光温泉 旅の宿 風のひびき(〒321-1421 栃木県日光市所野2854)

テーマ 「これからの労山の自然保護活動はどうあるべきか

-自然保護の歴史を学び、これからの方向性を探る」

※担当の八重樫隆理事に参加してもらう。不可の場合は事務局対応。

(6) 全国一斉クリーンハイクその他の集約

山城	参加会数	参加者	可燃ゴミ	不燃ゴミ	合計(kg)
鯨山	釜石労山	15		1	1
岩手山	盛岡山友会	24		20	20
姫神山	盛岡山友会	11	—	0	0
今出山	アウトアを楽し	20		1	1
大白森	む会	20		0.5	0.5

(7) 2018労山カレンダーの申込

	昨年	今年	備考
岩手県連	140	136	※盛岡山友会は70→65に減部

(8) その他(情報共有)

・石楠花山荘建替運動…来年度着工が決定(大船渡市・釜石市・住田町で7,592万円抛出)

専門部報告

●山行管理委員会

■山行リーダー会議の開催について

山行活動の安全を担う山行リーダー経験者に集まっていただき、事故やヒヤリハットの情報共有や事故等防止対策について話し合う会議を下記のとおり開催します。C・L・S・L経験者ほか、山行活動で問題意識をお持ちの有志の皆さんも大歓迎いたします。申込は下記担当まで。【締切：10月11日(水)】

記

日時：10月18日(水) 18:45～20:15

場所：盛岡市勤労福祉会館 2階会議室

内容：事故・ヒヤリハットに学ぶ／山行活動における気づきの共有／トラブル発生時の事例研究など

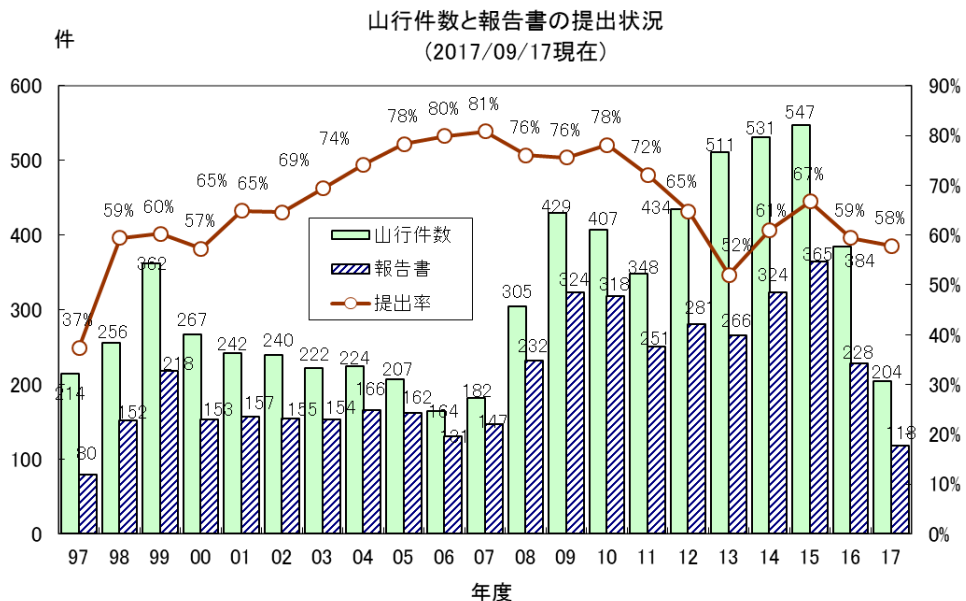
参加申込：山行管理委員会 渡邊まで（口頭か以下の方法で）

携帯&SMS：090-9634-2257 Mail：wataken0806@biglobe.jp

Fax：019-641-3905

■山行件数と報告書の提出状況について

9月17日現在で山行計画書の提出は244件、実施件数は204件（実施率84%）、うち報告書の提出件数は116件（提出率57%）です。4月以降、事故ゼロ、ヒヤリハット3件の報告がありました。



● 教育遭対部

■ 救急法・普通救命講習会

- ・ 日 時：10月29日(日) 9:30～16:00 (開場・受付9:00～)
- ・ 場 所：滝沢市市民福祉センター2階 (市役所裏)
- ・ 内 容：午前 普通救命講習(AED) <消防署に依頼>
午後 登山者のための応急手当
- ・ 持ち物：日帰り装備一式 (ストック、三角巾、ツェルト含む)、昼食
- ・ 〆 切：10月22日(日)
- ・ 申込先：378 高橋 英里子
メール(mogumogu.ippai@gmail.com)かSM(080-3327-3448)に、
①氏名 ②住所 ③生年月日 を記入してお申し込みください。
先着20名まで (普通救命講習受講のため)

■ 冬山入門講習会(座学)

- ・ 日 時：11月1日(水) 18:30～
- ・ 場所・申込先：未定
- ・ 冬山は夏山とはまた異なった危険が伴います。必要な装備や行動の仕方も違ってきます。
冬の里山を楽しむ方から樹林帯を越えて高みを目指す方まで、特に初めて冬に山歩きをしてみたい方は、ぜひ参加してください。
※実技に参加を希望する方は、座学にもぜひご参加ください。

● 会報部

♪♪ 「山友」第29号の原稿を募集しています♪♪

募集内容と担当者

今年も山友は納山祭時に発行予定です。会報部ではみなさんからの投稿をおまちしております。担当者と提出方法、提出先は下記のとおりです。

内容	提出方法	担当者	メールアドレス等
専門部、志向別G報告	メール、郵送、手渡し、 全てOKです	No.372 辰巳和司	dyy_tatsumi@ybb.ne.jp
山行報告、エッセイ、俳句、 川柳、短歌、詩等	メール、郵送、手渡し、 全てOKです	No.294 松田希	lets-climb@mirror.ocn.ne.jp
		No.372 辰巳和司	dyy_tatsumi@ybb.ne.jp
全員アンケート	メール、郵送、手渡し、 全てOKです	No.357 渡部彩子	akabeko@d9.dion.ne.jp
		No.474 桜庭由季子	sakura.yy.0601@gmail.com
山の風景写真	メール	No.301 久保加世子	k-kubo@mba.nifty.ne.jp
新人会員のひとこと	メール	No.323 三浦良夫	mirumaru33@dune.ocn.ne.jp
	お問い合わせは No.358 石川亨子 まで		majo-k@piano.ocn.ne.jp

★締め切り 平成29年10月25日（水）例会時

<今回の全員アンケートです>

2017 みんなの山歩き〜「山友」アンケート〜No. _____ お名前 _____

手書きの場合は会報部・渡部彩子、桜庭由季子にお渡しください。締切は10月25日の例会までです。メールの方は、akabeko@d9.dion.ne.jp (No.357 渡部彩子) または sakura.yy.0601@gmail.com (No.474 桜庭由季子) までお願いいたします。

Q1. 8月11日が山の目として祝目になりました。何をして過ごしましたか？

Q2. 次回の山行や今後の山行は何を参考に決めますか。(例えばクチコミ、会の山行計画、ヤマレコやブログなどのインターネット情報、雑誌等)

※足りない分は、裏面にお書きください。ありがとうございました。(会報部)



行ってきました!

[8月14日～9月17日現在]その1

No.	月日	山域	ルート	目的	参加者名	会	分類
1	8月15日	岩手山	柳沢コース	岩手山に泊まり、星を見る。	L中村(数)・S高橋(陽)	2	個人
2	8月16日	鞍掛山	相ノ沢コース	トレーニング	L中村(美)	1	個人
3	8月17日	姫神山	一本杉コース	トレーニング	L小田(嘉)・小田(春)	2	個人
4	8月19日	東根山	ラ・フランスコース	トレーニング	L中村(美)	1	個人
5	8月20日	鳥海山	祓川ヒュッテ～七高山往復	鳥海の百花繚乱を楽しみ、暑気を吹き飛ばそう。	L古川・S府金(志)・三澤	3	会
6	8月20日	男助山 (758.4m)	ケッパレランド～山頂往復	紫波の山々を見る!	L岡(義)・S山崎(祐)・川村(雅)・太田代・柏木	5	会
7	8月20日	川目		岩登り訓練	【受講者】 渡邊(健)・石澤・級木・加藤(桂)・武田(秀)・本間(典)・高橋(陽)・村田・大倉 【スタッフ】 中村(数)・松田(幸)・三浦(明)・高橋(英)	13	会
8	8月20日	姫神山	一本杉コース	トレーニング	L松田(希)	1	個人
9	8月20日～8月24日	会津朝日岳、越後駒ヶ岳、平ヶ岳、中ノ岳	赤倉沢口～会津朝日岳往復、駒の湯山荘～越後駒ヶ岳往復、十字峡登山センター～中ノ岳往復、平ヶ岳登山口～山頂往復	夏山を楽しむ	L大峠	1	個人
10	8月21日	岩手山	柳沢コース	トレーニング	L小田(嘉)・小田(春)	2	個人
11	8月22日	安家森 (1239.1m) ・遠別岳 (1235m)	袖山高原口コース	高校同期と歩く	L本間(典)・S菊地(広)〔会員外〕2名	2	個人
12	8月26日	月山	月山八合目コース	修験道の跡を辿る	L古川・S大森〔会員外〕6名	2	個人
13	8月26日～8月27日	塩見岳	島倉コース	南アルプスの花を楽しむ	L加藤(桂)・S小田(春)・大倉	3	個人
14	8月26日～8月29日	妙高山、火打山、焼山、雨飾山	妙高山登山口～山頂往復、火打山登山口～山頂往復、第二ゲート～焼山往復、山寺上～雨飾山往復	夏山を楽しむ	L大峠	1	個人
15	8月27日	岩手山	御神坂～鬼ヶ城～網張	トレーニング	L久保・石川	2	個人
16	8月27日	三ツ石山	網張奥産道コース	トレーニング	L高橋(英)	1	個人
17	8月27日	裏岩手	松川温泉～三ツ石山～源太ヶ岳～松川温泉	お散歩	L杉澤	1	個人
18	8月27日	源太ヶ岳	松川温泉コース	源太ヶ岳登山	上野〔会員外〕5名	1	他団体
19	8月27日	岩手山	柳沢コース	トレーニング	L日比野・S中根・工藤(敬)・熊谷(久)・級木・高橋(陽)	6	個人
20	8月27日	秋田駒ヶ岳・乳頭山	秋田八合目～笹森～湯森～笹森～烏帽子岳～孫六温泉	初秋の山を楽しむ	L吉田(菊)・山田(純)・菊地(良)・菊地(広)〔会員外〕2名	4	個人
21	8月27日	岩手山	網張コース(鬼ヶ城→お花畑)	網張コースを楽しむ	L舟越	1	個人
22	8月27日	三ツ石山	網張コース	トレーニング	L石澤・石原	2	個人
23	8月28日	早池峰	小田越～早池峰往復	トレーニング	L岡(義)・S高橋(恵)・太田代	3	個人
24	8月28日	八幡平	見返峠～源太森～山頂～見返峠	初秋の写真撮影及びトレッキング	L川村(雅)	1	個人
25	8月31日	又一の滝	馬留ロピストン	心のスケッチ	L工藤(敬)・S級木・中村(美)・石澤	4	会
26	8月31日～9月1日	針ノ木岳・蓮華岳	扇沢口～針ノ木岳～針ノ木小屋～蓮華岳往復～扇沢口	夏山を楽しむ	L大峠	1	個人

[8月14日～9月17日現在] その2

No.	月日	山域	ルート	目的	参加者名	会員	分類
27	9月2日 ～9月5日	光岳・茶臼岳・ 上河内岳	畑薙ダムから茶臼 小屋～光岳～上河 内岳～聖登山口	南アルプスを歩 く	L山田(潔)〔会員外〕1名	1	個人
28	9月3日	岩手山	上坊コース	創立記念山行	L渡邊(健)・S舟越・石原〔会員 外〕1名	3	会
29	9月3日	岩手山	柳沢コース(A 班)	創立記念山行	L加藤(桂)・S中村(数)・中村 (美)・石澤・小田(春)・遠藤(千)・ 菊地(広)・小川(優)・熊谷(久)	9	会
30	9月3日	姫神山	一本杉～山頂～こ わ坂(A班)	創立記念山行	L小田(嘉)・S高橋(恵)・武田 (秀)・三澤・浦部・佐々木(優)	6	会
31	9月3日	姫神山	一本杉～山頂～こ わ坂(B班)	創立記念山行	L福山・S吉田(成)・太田代・高橋 (敏)・亀田(英)・亀田(金)	6	会
32	9月3日	姫神山	田代コース	トレーニング	L川村(雅)	1	個人
33	9月3日	岩手山	網張コース	創立記念山行に 参加する	L松田(幸)・松田(希)	2	個人
34	9月3日	岩手山	柳沢コース(B 班)	創立記念山行	L三浦(明)・S高橋(陽)・工藤 (敬)・級木・高橋(英)・本間(典)・ 佐々木(善)・古川・山口	9	会
35	9月3日 ～9月6日	餓鬼岳、有明 山、燕岳・大天 井岳	白沢口～餓鬼岳往 復、中房温泉～有 明山往復、中房温 泉～燕岳～大天井 岳往復	県外山行を楽し む	L大峠	1	個人
36	9月6日	鞍掛山 (897.1m)	相ノ沢コース(右 回り)	トレーニング	L岡(義)・S高橋(恵)・太田代	3	個人
37	9月7日 ～9月10日	槍ヶ岳	上高地～槍ヶ岳往 復	槍ヶ岳の山頂で 写真を撮る!	S久保・石川〔会員外〕2名	2	個人
38	9月8日	塩屋富士 (317m)	南登山口～山頂～ 北登山口	沖縄の山仲間と ハイキング	渡邊〔会員外〕11名 ※沖縄 山「花いかだコザ」の仲間が案内 役	1	個人
39	9月9日	岩手山	柳沢コース	賢治の足跡を体 験登山	中村(美) ※網張ビジターセン ター主催	1	公募 (公的 機関)
40	9月9日	大薮山	国道342号～天狗 森～大薮山往復	県境アプローチ ルート下見	L本間(典)・S中村(数)・加藤 (桂)・小田(嘉)	4	会
41	9月9日	岩手山	網張コース(鬼ヶ 城～お花畑)	網張コースを楽 しむ	L舟越	1	個人
42	9月9日	岩手山	柳沢コース	親子登山	L成瀬〔会員外〕1名	1	個人
43	9月9日	笹森山・笹森 山・乳頭山	秋田駒八合目～笹 森～湯森～笹森～ 乳頭山～孫六温泉	初秋の山を楽し む	L吉田(菊)・S山田(純)・菊地 (良)・菊地(広)〔会員外〕1名	4	個人
44	9月9日	三ツ石山	奥産道松川大橋～ 山頂往復	トレーニング	L福山	1	個人
45	9月9日 ～9月13日	光岳 (2,591m)・ 聖岳 (3,013m)	易老渡～光岳～聖 岳～便ヶ島	日本百名山2座 を登る	L日比野・S中根・熊谷(久)・級 木・工藤(敬)・小田(春)・高橋(陽)	7	個人
46	9月10日	朝島山(607m)	不明	トレーニング	L川村(雅)	1	個人
47	9月10日	岩手山	御神坂コース	トレーニング	L杉澤	1	個人
48	9月10日	鯨山	陸中海岸青少年の 家～(左回り)～ 鯨山往復	鯨山登山	S上野〔会員外〕5名	1	他団体
49	9月14日 ～9月17日	宝剣岳・空木 岳、塩見岳	千畳敷カール～宝 剣岳～木曾駒ヶ岳 ～木曾殿山荘～菅 の台BT、鳥倉 コース～塩見岳往 復	アルプスを歩く	L山田(潔)〔会員外〕1名	1	個人
50	9月16日	神室連峰 虎毛 山(1,433m)	赤倉沢コース	東北百名山に登 る	L本間(典)・S日比野・中村(美)・ 石澤・工藤(敬)・小田(嘉)・小田 (春)	7	会
51	9月17日	岩神山 (1,103m)	区界ウオーキング センター～山頂往 復	ゆっくり山を楽 しむ	L岡(義)・S吉田(成)・太田代・小 川(優)・柏木	5	会

注：これは、あくまで速報的なものですので、掲載もれや誤り等がある場合はご容赦ください

山行報★告



31 周年創立記念山行 岩手山

No. 310 菊地 広子

2017年9月3日（日） A班10名

登山口 6:10～五合目 8:40～八合目 10:00 ～奥の宮 10:55 — 昼食・清掃活動

・セレモニー —12:00 発～山頂 12:20～八合目 13:00～五合目 14:10～登山口 17:15

久しぶりで参加申し込みをしたが、グループの足並みについて行けるのだろうかという不安、続く長雨に大型台風の接近の天気予報に一喜一憂しながら日を送り当日を迎えた。ひとまず雨の心配はなさそうだ。ラッキー！馬返しコースは2チーム。それに上坊コースと松田夫妻2人の網張コースの編成である。

5時45分登山口集合、なのに目覚めて時計を見るとなんと5時。日曜の早い時間とあって道が空いていて、無事間に合って胸をなで下ろす。6時10分A班を先頭に出発。10月並みの最低気温という日もあり寒さを意識したが、歩き出すと汗が吹き出る。やっぱり暦は9月だ。早々と衣服調整をし、1合目、3合目の小休止を挟み花を見たり、おしゃべりをしながら、ほど良いペースで登って行く。馬返しコースは立ち止まって盛岡の町並みを見下ろししているうちに8合目小屋にいつの間にか着くという感覚があるのだが、靴擦れが気になり始め風景を楽しむ心境からほど遠い。朝に見えていた山頂だったが、時に空は雲が湧き渦を巻くのが見えたりする。眺望はその時の運によるかとも思いながらも、山頂からの見晴らしを期待し足を運ぶうちに8合目小屋に着く。ここから上は風が強いだろう。アウターに身繕いして気を引き締め出発する。ガレ場ではお山そばが紅葉を待っていた。先頭に立ったB班はお釜の縁を山頂目指して左に、A班は奥の宮へと別れた。

清掃活動は食事の後でと言う事になる。奥の宮の脇で風を避けて昼食にする。漬け物など交換してそれぞれの家庭の味を賞味する。何と云っても山での食事は楽しいひと時だ。お宮の回りは岩桔梗が花盛り。後日「かたまりて 咲きて桔梗の さびしさよ」という万太郎の句を目にした時、ふと奥の宮の桔梗が目に見えかけた。

美枝子さんは早々と食事を切り上げ、清掃を始める。周りの我々も後を追う。一見した所ガラス片は見られなくなったと思ったが、始めるとざくざくと出る。かなり大きな破片もある。B班が到着、そのうちに「セレモニーを始めよう」という声が聞こ

えて来た。慌てて靴擦れの手当をする。古川さんの司会で、会長の挨拶、新人二人の自己紹介。自然保護部から清掃する経緯と重量見積もり等、その他進み、万歳三唱、恒例の写真撮影でセレモニー終了。姫神山に昇った人たちと無線の交信がなかったのが少々寂しいな思った。



A 班は山頂を目指して出発。松田夫妻が飛ぶが如く我々を追い越して行った。幸いガスも晴れ眼下にいつもの景色が広がり、山頂に立った喜びを束の間かみしめ下山を開始。

7合目で新・旧どのコースを取るか。新道を希望し叶えられた。確かに長かった。登山道は深くえぐれ、補強に土嚢が置かれ据えられた丸太も新しく見える。今年の雨の降り方は確かに激しかったが、それにしても旧道に比較してみると荒れ方が激しい様に思える。

二合目半を過ぎた頃から足の疲れを覚え慎重にと自分に言い聞かせていた。ちょうどその時「B 班休憩します。」の声が掛かり A 班も休憩することになった。元気を取り戻し『疲れる前に休憩をする』ことが大切だと理解した。稜線と樹林帯の風の違いを理解しているつもりでも、実際に体感してその歴然たる差には瞠目せざるを得ずであった。良いペースで心地よく歩けたが、リードする遠藤さんの人柄と長年の経験の積み重ねを思った。遠藤さんありがとう。そして参加の皆さんありがとう。とてもたのしかったよ。

東の空に淡白い月が昇り、カラスがねぐらの愛宕山に集まるのを眺め爽快な気分で家路をたどった。



創立記念山行 岩手山 馬返しコース B班

No. 477 名前：佐々木善男

日 時：2017年9月3日（日）

天候：曇りのち晴れ

メンバー：CL三浦 明夫 SL高橋 陽子 襲地 則子 工藤 敬子 古川 孝
級木 信子 本間 典 高橋英里子 山口齊 佐々木善男 10名

コースタイム：6時10分馬返し登山口→旧道→9時59分8合目避難小屋→10時45分お鉢→山頂11時7分→11時25分奥の宮→清掃，セミナー，昼食→13時10分8合目避難小屋→新道→15時11分2.5号目→16時15分登山口→反省後解散

台風15号が日本の南でなかなか動かず3日はどうなるか全く先が見えず中止の公算大？その場合7月入会、会の山行に初参加の私は「雨男、嵐を呼ぶ男」として責められるかと思っておりました。

私は2年前に登山を始めたばかりで無雪期の単独日帰りしか経験がありません。会員の皆様について登れるのか不安でした。5日前に相野沢キャンプ⇄鞍掛山3往復/1日のトレーニングを行い備えました。

当日朝起きると雨はなく風も強くなく、予定通り馬返し登山口から出発しました。先頭は高橋SL、その後に女性陣4名、その後に男性陣5名という隊形で登りました。ガスで展望は良くありませんでしたが、まだ高山植物の花も残っていて見ながら登り、約4時間で8合目避難小屋に到着しました。休憩後、上は寒いということで防寒対策をして登山再開、お鉢に上がったところでは風が強く視界も50m程度？しかなく白い世界でした。私は山頂は断念？と思いましたが、さすがに山友会の方々は躊躇なく山頂を目指しました。時計回りで11時7分(5時間)に山頂に到着しました。山頂も風が強く視界無し、写真を撮影して奥の宮目指して下りました。

奥の宮でA班、上坊コース班と合流しガラス瓶の破片、缶詰めの空缶、ミカンの赤いネット？等を全員で拾いました。私の日帰り用30Lのザックは、持ち帰りゴミでパンパンに一杯になりました。

第31回目のセレモニーを行い、新人、各リーダー、渡辺会長からご挨拶を頂き、万歳三唱でしめました。その後B班は奥の宮の石積み影で風を避けて昼食となりましたが、漬物等差し入れを回して下さる方がおられ、美味しく楽しく昼食を頂きました、ありがとうございました。青い花(名前?)が咲いてました、僅かですがコマクサも残っていました。下山に入りお鉢に上がると青空が広がり風も弱くなっていました。8合目避難小屋で休憩、寒さ対策解除して7合目分岐点を目指して歩きましたが、展望が良くなり、姫神山、早池峰山、雫石、滝沢、盛岡市を見ながらの快適な下山となりました。7合目でA班と相談し新道も通ってみようということにしました。新道は、樹

林帯で風があたりず暑い（風の強い日は良い?）、展望無し、道が狭い、急なところが数か所あったということで旧道のほうが歩きやすいのでは、というのが皆さんの印象だったように思います。

下りで転倒する人もおりました、私もバランスを崩して手をつくことがありましたが無事に下山することが出来ました。

日曜日ということもあって色々な世代の人が岩手山に登っていました。某高校の剣道部とか、外人さんも多く三沢の米軍基地から来た人とか。ひとつ気になったのは新道下りで外人さん夫婦が大きな犬を連れて登っていましたがペットの入山は可?

私はこれまで単独登山でしたが、道迷い、滑落遭難を心配して不安な気持ちで歩いておりましたのであまり楽しい気分ではありませんでした。今回、山友会に参加させて頂き仲間と一緒に登山するのは心強く、色々な話をしながら、教えてもらいながら楽しい登山でした。今後も会の山行にできるだけ参加し、皆様に色々教えてもらいながら一緒に楽しく山登りをさせて頂きたいと思います。





塩屋富士(317m) - 沖縄本島の山を訪ねて -

No.002 渡邊 健治

日 時：2017年9月8日(木) 晴れ

メンバー：渡邊 他会員外11名(東京・わたすげ1名、東京・さくら草1名、神奈川・みずなら山の会1名、神奈川・緑星1名、沖縄・花いかだコザ7名)

行 程：9:15 南側登山口(六田原口)～10:15 塩屋富士～11:10 クガニ岳～11:45 坊主森～12:15 北側登山口(大宜味口)



全国連理事会の関係で有志5人で沖縄に行く機会があり、大宜味村の塩屋富士に登ってきた。案内は沖縄労山の「花いかだコザ」の皆さん。沖縄には標高は高くないものの、珍しい動植物に出会える魅力あふれる山が沢山ある。塩屋富士もその一つだった。

原色の南国らしい花が咲く登山口(六田原・ムタバ)で花いかだコザの皆さんと合流し、高江洲会長をリーダーに登山開始。沖縄は夏日が連続80数日続き記録を更新しているとのことで、朝から気温

は30度越え。猪から畑を守るために石で築かれた猪垣(やまししがき)に沿うように登山道が延びている。

花は2月が最盛期ということだが、植生は独特で、特にヒカゲヘゴという樹木は毛だらけで不気味だった。恐竜時代の生き残りらしい。稜線に近くなると天然のシーケャサーの木が実をつけていた。これからが収穫の時期で、最盛期にはレジ袋持参で山に入るらしい。1つかじって見ると、苦みと酸っぱさが程よく調和して後味が良かった。

登山道の所々にはマングースの罠が仕掛けてあった。ヤンバルクイナを守るためとのこと。擬態するキノボリトカゲやシロオビアゲハ(擬態ベニモンアゲハ)があちこちで出迎え、天然記念物のリュウキュウヤマガメが登山道で昼寝をしていた。



ヒカゲヘゴ

鮮やかな模様のアカギカメムシの集団にも遭遇する。ハブだけは会いたくなかったが、地元の人間でもめったに会うことはないらしい。



リュウキュウヤマガメ



アカギカメムシ

クガニ岳と坊主森（ボウジムイ）では展望が開け、マリブルーの海とそこに浮かぶ島々を堪能する。休憩では沖縄の里芋（チンヌク）の差入れがあり、淡泊な味だが初体験の独特の食感で美味だった。これ以降、標高差は大きくないものの何度かアップダウンを繰り返し、展望台のある大宜味口に着く。



クガニ岳からの眺め

展望台の日陰で昼食と差入れのスイカを食べながら、ゆっくりと交流する。沖縄のスイカは皮の白いところまで甘く美味しかった。花いかだコザの皆さんは、毎年、北アルプスなど本土の大きな山を数日かけて縦走しているとのこと。来年は、東北の名山を目指したいとのこと。たぶん岩手にも来てくれるだろう。

【特記事項】

- ① 沖縄の日差しは強烈で日焼け対策はしっかりやった方がよい。地元の皆さんは、虫刺され対策も併せて素肌を出さない工夫をしていた。（つば広の帽子、長袖シャツなど）
- ② 沖縄の山でも毎年道迷いによる遭難があるとのこと。塩屋富士はコースが整備され迷うような所はなかったが、国土地理院の地図には登山道の表示がなく、他の山などでは注意が必要と思う。



参加メンバーで記念撮影

“<秋きぬと・・・>”

一日一日と過ぎて、ふと気づくと、もうあの暑い夏がすぎている。暑い夏というのは当たり前だが、今年は八月に入ってから、曇りの日が続き、ぎらぎらと照り付けるあの暑い夏どころか、梅雨空の日々。なんとなくうっとうしかった。久しぶりにこの頃晴れ間が見えたのでほっとした。だが、見上げるともう秋空。

秋きぬと 目にはさやかに 見えねども 風の音にぞ おどろかれぬる

(藤原敏行、古今 169)

千年以上も昔の人も秋空を見ていた。それをことばにして残している。作者の藤原敏行は三六歌仙の一人とか、出羽国の按察使(あぜち)になったとかを知ってもピンと来ないほど昔の人だ。ところが、「秋きぬと…」と口づさむとなんとなく親しみを感じてしまう。しかも出羽の国(秋田)のお役人だったのだ。この秋空も東北の空だったかもしれない。盛岡の空を見上げながら、おなじ東北の空なのだなあと勝手に同感してしまう。

肉体は滅ぶという運命を避けることができない。土や塵となって自然の一部と同化する。ところが、ことばは読む人がいる限り滅ぶことがない。千年後の人でも千年前の日本語を知っていればたちまちことばの世界は蘇ってくる。幸いなことに、日本文化が継続しているので、ことばの命も尽きることがない。ありがたいことだ。言霊(ことだま)というのは、滅ぶべき身体と違って、霊となって永遠の生命を持っているわけだ。会ったことも、ことばを交わしたこともない人でも、「秋きぬと・・・」ということばを残すだけで、こころ癒す友人となれるのだから、信じがたい力だ。ましてや、同時代人だったならば、心を通わせる機会もあったはずだ。

女郎花 吹きすぎてくる 秋風は 目には見えねど 香こそしるけれ

(凡河内躬恒、古今 234)



女郎花

凡河内躬恒は女郎花を詠うなかで「秋風は目には見えねど…」ということばを使っている。あれあれ、敏行の「目にはさやかに見えねども…」のパクリかよと思ってしまう。現代のように、特許権などでうるさい時代ではない。パクられることこそ、その和歌(うた)が素晴らしと評価される平安時代なのだ。おそらく二人は久しぶりに京の都で再会した時に、話が弾んだことだろう。

「敏行殿。出羽の国の秋空は都とはだいぶ違うようだよ。貴殿の詩はすっかりわれら詩仲間に知れ渡っておるぞよ。音が運ぶ秋とはなかなかのものですね」

「躬恒殿、田舎暮らしで都人の風情をすっかり忘れてしまうたのだ。風の音しかないのだから。それにしても、貴殿もまた秋風の歌を作ったとか？」

「敏行殿に刺激されとうたわ。都風にしか詠えないが、女と香りで秋をたのしもうとしてな。」とか話したかもしれない。

敏行の歌を思い出させて、しかも別な自然を読んでいる。秋風と音にたいして、秋風と香りなのだ。秋風は音だけではありませんよという、自然とはいくらでも尽きることのない豊かさを持っているのだと言っているかのようだ。

世の中にはいろんな人がいる。自然界の変化を感じ取ることを詠んで、いったいなんになるのだ。という人もいないわけではない。今日一日必死に生き伸びている人にはそんな余裕はないのだから。借金に追いかけている人は、借金風（かぜ）しか感じられないだろう。心の中は寒風だけ。感じる事が痛みを伴う。これでは感覚を麻痺させる方がいい。それには、全身麻酔とか無痛分娩とかいう、医学の最先端の処置をすればいい。痛みから解放されるというこの上ない幸せが得られる。もっとも、その代償も大きい。

麻酔手術ではミスで命を失う危険が生まれる。全身麻酔の治療の際は、医者に麻酔治療の誓約書を提出するほどなのだ。それ以上に、治療者本人は麻酔されてしまうと、生きてることを忘れてしまうのだ。麻酔が解ければ、人間に戻ることになっている。その間は、生きた屍、仮死状態なのだ。人間失格の時間になる。感覚がないということは人間であることを中止していることになる。

お金に目がくらむと、お金以外には無感覚になる。もっとも、お金に対してだけは人一倍鋭い感覚がある。たとえ一つしかない感覚でも、ないよりまし。まだ人間ではないかともいえる。ぎりぎりの人間ではあるけど。お釈迦様が救おうとした一本の蜘蛛の糸のように、いつ切れるか分からない。悪人だったため地獄に落とされたが、蜘蛛を殺さなかったことがあったので、蜘蛛の糸で極楽へ救い上げられるあの話だ。自分だけ助かりたいという欲に目がくらんだ瞬間、地獄に戻されてしまう。人間が生み出したお金という人工の極楽は人としての感覚を奪ってしまうようだ。極楽に見せて、地獄なのだから。やはり自然が与える感覚に身を任せるのがいいらしい。そこは人としての感覚が失われない楽園なのだから。

汗を流して、山に登って、なにかいいことがあるのと質問する人もいるだろう。せっかくの休日を山に登り、お金と時間の無駄使いじゃないかとも言われかねない。山に登れば分かるという相手にしない方法もある。だが、分かっているつもりで分からないままなのもしゃくだ。お金だけにしか目に入らない人のように、山を征服することしか目に入らない人もある。これは初級の段階だ。もちろん経験を積み、視野が広がり、山の良さを分るかもしれない。現代人とは人工的な都会で生活するのが大部分だ。この中に埋没すると、都会の感覚に埋没してしまう。全身麻酔の人間、無感覚の人間になってしまう恐れがある。危険なのは、その無感覚人間になることすら気づかなくなることだ。一つだけ言えることは、山には感覚を蘇生させる力があるということ。人としての感覚を取り戻せば、山に登るわけも、秋風を感じる日々も分かるだろう。

交流の広場

私の山の楽しみ方

小学低学年（1960年頃）生家である茅葺きの母屋玄関前脇に左右・中央と石を置き、長い板で3段の雛壇を作り山や川・岩場等から色々な苔を採って来てお皿に入れて並べ、時々水をやり色が変わったり乾燥したりするのを楽しんでいた。

ある日、でこぼこ道を自転車で来た郵便屋さんに『これはな~に?』と声をかけられた。

苔の名前も何も知らないけれど…採取した場所を一個づつ話したら『ふ~んみんな綺麗だね~(^^♪』と言ってくれて…。子供心にとても嬉しかった事を覚えている。

苔と一言でいっても日本だけで蘚苔類(コケ)約 1,800 種あり世界には約 18,000 種もあるそうです。体のつくりはとてもシンプルで原始的・孢子・クローン等で増える。苔は大きく次の3つの仲間に分けられています。

●蘚類 直立性・匍匐性

乾燥に強くカサカサした手触りのものが多い。蒴は硬くて腐りにくく地面から直立タイプと這うタイプがある。

●苔類 茎葉体・葉状体

ペタッと柔らかいものが多く、蒴も軟質でつぶれやすく腐りやすい。葉と茎の区別のない葉状体。

●ツノゴケ類 葉状体

動物の角のような蒴をもつ。蒴の出ている時は葉状体の苔類のように見える。

私がいつも花観察の為持ち歩いている宝石鑑定用のルーペは最近色々な場所で苔観察も加わり大忙しです。

(石川 享子)

会報部員のひとこと

『秋駒の大きな熊』

駒池脇で昼食中、女岳下で大きな熊も食事の様子。少しすると木道をゆっくり歩いて来て浮島に見えるホソバウキミクリの間を気持ち良さそうに泳いで来た。

邪魔をしない様に熊の泳ぎ・花・トンボの写真を撮りながら来た道に戻った。熊も性格が色々な様子！

【目が悪い?・突然の出会いが危険・火が怖い等々・私の対策→蚊取り線香・笛・100均のピストル(音と火薬の臭い)】

(No.358 石川)

— 初秋の安達太良山に青空があった —

初秋 10月2日、安達太良山(1699,2m)の山行。この山は高村光太郎の『智恵子抄』で「頂上の上には本当の青い空がある」と詠んだことで知られ、この日は青く澄みきった空が広がり最高の登山日和、全国から訪れた登山者も多く賑わった。紅葉の見頃にはまだ早く三分程度。火山の火口は頂上から少し下方「絵」の裏側にありスケールが雄大。

頂上の形状から岩手の「乳頭山」と同様、「乳首山」とも呼ばれるが、三ツ石山に良く似た山だ。これと同じ頂上の形状は全国的に多数あるが、周辺に山がない独立峰の頂上が風に吹かれ岩だけが残し、この様な突端が突き出た頂上に成ると納得する。表紙の絵は九合目から頂上を望む。

●時を経て安達太良山は智恵子抄青空ありて紅葉愛らし

No.459 三澤信裕

あかげら 第346号

2017年9月27日

発行者 盛岡山友会 会長 渡邊健治

編集責任者 盛岡山友会 会報部長 辰巳和司

印刷／製本 (有)小松茂印刷所

盛岡市大沢川原2-5-37

019-623-6073

盛岡山友会のホームページ

http://www.geocities.jp/morioka_sanyukai/

～里山からヒマラヤまで安く、楽しく、安全に!～